

8月



霧島市立持松小学校

令和7年8月19日

かがやけ！持松っ子

努力貯金で3つの花を咲かせよう！
《やさしさの花 かしこさの花 たくましさの花》



極小規模校だからできること 極小規模校でもできること

校長 後藤 豊仁

8月4日の朝、とても嬉しいニュースが飛び込んできました。本校6年児童のかいた絵が、鹿児島県児童生徒図画作品展において最高賞の鹿児島県知事賞を受賞したという連絡でした。鹿児島県児童生徒図画作品展は、鹿児島県の小・中学校に在籍しているほぼすべての児童生徒が応募する鹿児島県最大の図画の作品展です。



通常3段階あり、各学年に応募できる点しませんが、本校は規模が小さいので、おそれず、大規模校に比べても、これだけの学校で審査会を選びます。

【県知事賞：6年間ともに過ごした学校】

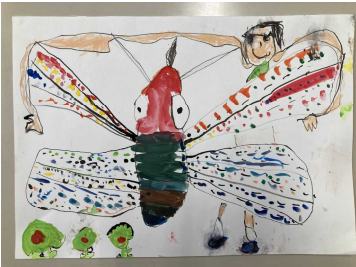
次に、地区審査があります。各学校から上がってきた作品を今度は地区で審査しますが、それぞれの地区において、各学年僅か5点ほどしか県の本審査に上がりません。そして県内全域から上がってきた優れた作品をさらに審査し、初めて県の入賞が決まるという流れになります。

ですので、言うならば誰の目から見ても素晴らしい作品でなければ上がっていかないことになります。そのような作品展で、本校のような極小規模校から県知事賞の受賞児童が輩出できたことは快挙という他ありません。また、小学4年の児童も同じ作品展で、鹿児島市長会会長賞という特別賞を受賞しました。これも素晴らしいことです。

また、先にありましたきりしま美術大賞展におきましても1年児童が最高賞のきりしま大賞を、他にも4名が特別賞を受賞しています。

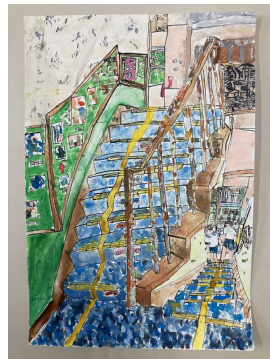
これだけの結果が表れた要因はいくつかあります。特に、6年児童においては、本校への思い入れが深く根付いていて、その思いを絵に表現できたことです。題名にもありますように、6年生が1人だとしても、本校【市長会会長賞で卒業を迎えたいという並々：みんなをつなぐ階段】ならぬ気持ちが創作意欲につながり、丁寧に根強く絵に向かい合うことができたからです。

また、きめ細やかな指導ができたことも大きな要因の1つです。1人1人が本当にかきたいものを、1人1人のかき方に合わせて、教える側と教えられる側が一緒に進められていくことです。これは、少人数でなければできないことです。本校が、小規模校であることを長所として捉え、学びを進めてきたからこそだと思います。



【きりしま大賞：かわいいちょうちょ】

2学期は、持松校区合同秋季大運動会があります。その中で披露する一輪車演技もその1つです。少人数だからできることをしっかりと取り組むとともに、極小規模校では難しい児童相互の交流を、リモートにより他校と連携しながら、極小規模校でもできることとして進めていきます。2学期、これまで以上にいきいきとした子どもたちの姿をご期待ください。



★文教施設をご利用ください

残り10日ほどある夏休みを活用して文教施設に行ってみませんか。県内在住の小・中・高校生は、常設展示施設等の土・日・祝日の入場料が無料です。（入場時に年齢や住所を確認できる書類の提示が必要）郷土についての学びを深め、ふるさとを愛する心が育まれます。

- 歴史・美術センター黎明館（鹿児島市）
- 県立博物館プラネタリウム（鹿児島市）
- フラワーパークかごしま（指宿市）
- 上野原縄文の森（霧島市）
- 霧島アートの森（湧水町）
- 屋久島環境文化村センター（屋久島町）
- 奄美パーク（奄美市）



- | | |
|--------|----------------------------|
| 1日（月） | 始業式 大掃除（給食有） |
| 4日（木） | 委員会活動 |
| 11日（木） | 移動図書 |
| 14日（日） | 牧園中体育大会 |
| 15日（金） | 国民の祝日：敬老の日
持松2区敬老会 |
| 16日（火） | 市P連実行委員会 |
| 18日（木） | クラブ活動 |
| 19日（金） | 第2回運動会運営委員会 |
| 23日（月） | 国民の祝日：秋分の日
メディアコントロールデー |
| 24日（水） | 運動会練習 |
| 29日（月） | 研究授業（6年） |
| 30日（火） | 運動会練習 |

～お知らせ～

第76回鹿児島県児童生徒図画作品展が、8/28（木）～8/31（日）の4日間、鹿児島市の黎明館2Fで開催されます。本校児童の作品を、ぜひご覧ください。（入場無料です。）

子どもファースト2学期も一丸

教員 赤崎 拓朗(51) くれました。

持松小学校の新米教頭として迎えた1学期が、児童7人と共に無事に終わりました。

本校の本年度スローガンは「子どもファースト」

です。まずは子どもたちのことを第一に考える姿勢を貫くと心に決めてきました。

教頭になって迷いや不安もありました。職員や保護者、地域の方々に支えられながら、少しずつ成長してきているのではと感じます。

極小規模校だからこ

2学期は本校の児童に加え、他校の児童や大学生、地域住民が一体となった大運動会を予定しています。

そ、一人一人の小さな成長や変化が鮮明に見えます。日々新たな気づきがありました。例えば一輪車の練習で何回転んでも立ち上がり挑戦を続ける子どもたちの姿は、諦めない心の大切さを教えて

子どもたちがさまざまな交流を通して新たな発見や喜びを得られるように、私も「子どもファースト」の視点を忘れないで励みたいと思います。

(霧島市)